

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン碧海古井		
○保護者評価実施期間	令和8年5月1日		～ 令和8年5月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年5月1日		～ 令和8年5月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な個別性のある支援の提供 特に専門的支援を保育士・理学療法士で実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の質を高められるよう、多職種で連携をとり、工夫しています。</li> <li>個別療育やリハビリ、機能訓練が共有できるよう記録や発言を行っています。</li> </ul>	スタッフ間で実施内容を各自の学びにつなげられるよう、個別支援会議の場を、より有効に利用していきます。
2	職員間でのコミュニケーションが円滑 立場に関係なく、意見やアイデアを出すことができ、支援内容に対することも違や保護者の満足度が高いです。	スキルや知識の差を、コミュニケーションや意見をしっかり取り入れることで改善し、支援につなげています。	どの立場の職員でも発言しやすい環境設定を行い、より良い支援ができるように今後も努めていきます。
3	環境や体制の整備ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>余裕をもった職員配置をしています。</li> <li>安全に活動ができるよう、環境整備がおこなわれています。</li> </ul>	今後も、安全・安心に過ごせる環境を整え、より良い支援を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流（地域住民・保育園・地域イベントなど）が少ない。	近隣の公園や施設に出向くことはあるが、事業所内での活動で完結してしまい、交流の場を設けることができていません。	毎年少しずつでも、外部との関係性を新たに構築し、定期的なイベントとして導入していきたい。
2	施設内を見ていただく機会が少ない。	母子分離での療育のため、見ていただく機会が少ないです。	いつでも訪問可能とお伝えしているが、保護者側からは行きにくさがあるとお話があります。そのため、保護者会や参観日を設け、保護者の方々に足を運んでいただく機会を設けています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名 児童発達支援(重症心身) プレーメン碧海古井

2026年5月15日

利用児童数 0

回収数 0

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

## 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		児童発達支援(重症心身) プレメン碧海古井				公表日	2026年 5月 15日		
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		13		一日の利用定員に対して十分な活動スペースを確保します。	今後は、施設玄関前や近隣の公園での活動も行うなど、活動的な児が、のびのびと安全に活動できるように環境を整えていきたいと思ひます。		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		13		利用人数より職員の人数を多く配置しており、1対1で丁寧な支援をこころがけていきます。	今後、戸外に出かける際は、安全に考慮し、職員の人数を増やすなどして対応してきます。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		13		入口に段差があり、バリアフリー化ではないが、必要時にはスロープをつけるなどして対応してきます。	引き続き、児の活動レベルに合わせて、活動しやすいように環境整備し、バリアフリー化に配慮してきます。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		13		毎日の清掃、感染対策を行っています。児の目線で床で過ごせるよう、クッションマットを全体に敷き、安全に過ごせるよう柱や柵などの角にはクッション材を付けています。使用したおもちゃは、消毒洗浄するなど、日頃から衛生管理を徹底してきます。	引き続き、毎日の清掃、感染対策を実施します。児が安全に広々と遊べるように、常にこども目線に立て、危険が無いように配慮し、安全対策に努めます。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		13		クールダウンや体調不良などの必要に応じて、パーテーションで区切るなどして対応してきます。	ワンフロアの為、声の遮断ができません。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		13		月1回全体ミーティングを実践し、常に全体で意見交換してきます。	引き続き、定期的にPDCAサイクルに取り組んでいきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		13		アンケートを配布し、結果をホームページで公開し、支援の質の向上に努めています。	引き続き、保護者のご意見や思いを把握し、支援に反映できるよう努めます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		13		月1回全体ミーティングを行い、意見交換の機会を設けています。また普段から話ができる関係を築くように心がけています。	引き続き、意見を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		13		自社グループの管理者が定期的に来訪し、改善点を話し合っています。	今後は、専門家による外部評価も行えると良いと考えています。		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		13		外部の専門家による研修に定期的に参加し、研修に参加した職員が、他職員に報告し、学びを共有しています。また、オンラインセミナーを全職員が受講し、法人で定めている月間の研修も課題を決めて取り組んでいます。	引き続き、積極的に研修に参加し、資質の向上に努めたいと思ひます。			
環境・体制整備	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		13		多職種の意見を取り入れた支援プログラムを作成し、ホームページにて公表します。	引き続き、児や保護者の意向に寄り添い、作成してきたいと思ひます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		13		多職種でアセスメントを行い、保護者と面談のうえ、支援計画書を作成してきます。	引き続き、適切なアセスメントを行い、児や保護者の意向に寄り添った計画書を作成してきたいと思ひます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		13		支援会議にて、多職種で児の様子や課題を意見交換し、計画書を作成してきます。	引き続き、共通理解の下で、多職種の意見を出し合いながら検討してきたいと思ひます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		13		計画書をカルテにはさみ、支援中いつでも見られるよう、フロア内にカルテが配置してきます。	引き続き、共通理解の下で、職員全体で計画書に沿った支援を実践してきたいと思ひます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		13		標準化されたツールは用いていませんが、日々の行動観察からの情報を職員間で共有し、アセスメントシートに記載し、全職員が確認できるようにしています。	今後、より適切なフォーマルアセスメントの実施に取り組んでいきたいと思ひます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		13		保育士、看護師、理学療法士それぞれの立場から、児の支援に必要な支援計画を立案してきます。児に対して適正に支援が行われているか会議を開き、改善を行ってきます。	引き続き、多職種の観点から意見交換し、具体的な支援内容・支援方法を設定してきます。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		月間の活動を多職種の目線からアイデアを出し、療育・発達・リハビリの面で検討しています。	引き続き、多職種の意見を出し合いながら、立案していきたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		月間の活動を多職種の目線からアイデアを出し、療育・発達・リハビリの面で検討していきます。	引き続き、多職種の意見を出し合いながら、立案していきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	2	同じ内容の繰り返しにならないように、季節・イベントに応じて、多職種で案を出し合い、週ごとに内容を計画していきます。	児が楽しめる活動となるよう、発達段階やねらいを考慮し、プログラムを組み立てていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		5領域の内容に合わせ、個別活動で集中する時間と、小集団活動で他児との関わりやみんなで楽しむ時間を設け、支援を行っています。	引き続き、児の状況に応じて、計画書の立案、支援を行い、集団活動に参加が難しい児に対しては、小集団活動から始めるなどの工夫をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	支援開始前に、活動内容、役割分担、児の情報について、全体で申し送りを実施し、情報を共有していきます。	引き続き、職員間の情報共有を徹底し、多職種で連携を取りながら支援を行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		気づき、振り返りの内容、保護者の方の意見など共有し、次回に活かせるよう検討しています。必要時はすぐにミーティングを行い、情報共有しています。	引き続き、日々の気づきなどを今後の支援や業務改善に活かしていきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	2	初回利用3か月後と以降6か月ごとにモニタリングを実施し、個別支援会議を開き、児の現状を把握し、多職種で意見交換し、内容の見直しをはかっていきます。	引き続き、多職種で活発な意見交換を行い、共通認識をもって、適切な見直しをはかっていきたいと思います。
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	4		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	児に精通した職員が出席する予定です。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	自立支援協議会に担当者が参加しており、連携を図っていきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		児童発達支援事業所の担当者と密に連絡を取り、情報共有し、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	4	必要時に情報提供していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13		必要に応じて、福祉、医療、子育て支援等の関係者の担当の方と連携をはかりながら、支援をしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13		月に一度、自立支援協議会に参加していきます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	2	送迎時に自宅での状況、施設での様子を保護者の方と情報共有し、共通理解を心がけていきます。	引き続き、職員間の共通理解を心がけ、支援に取り組んでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		外部のプログラムを提供したり、職員が研修に参加し、保護者に提供したりしています。	施設では、家族が参加できる研修の機会は検討できていません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	利用契約時に必ずお伝えし、保護者の方に理解・同意を得ています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	保護者のご意向を確認し、個別支援会議にて支援計画書を作成していきます。	引き続き、児や保護者の意向を尊重し、全職員間の周知を心がけていきます。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	書面にて提示し、保護者から署名をもらっています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	毎日の送迎時にお声がけし、定期的に保護者面談も行っています。	引き続き、保護者との良好なコミュニケーションをはかっていきたいと思っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	12	1	活動の中で、保護者も参加できる活動を設けています。	引き続き、保護者会・参観日などで保護者同士の交流の場を設けていきたいと思っています。今後はきょうだい同士で交流する機会を検討していきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	毎日の送迎時やサービス提供記録にて保護者からの連絡を伺っています。相談や申し入れには迅速に対応し、必要時は関係機関との連携をはかっていきます。	引き続き、児や保護者の些細な変化にも対応できるよう、職員間の情報共有を行っていききたいと思っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		活動の様子が分かる写真をたくさん掲載した通信を毎月発行したり、月間予定表を配布したり、サービス提供記録に日々の様子を細かく記載したりして、情報を発信していきます。	引き続き、事業所の活動内容を知ってもらえるような様々な手段を講じて、情報を提示していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		施設内でのみ使用し、鍵付きの棚で保管しています。	引き続き、定期的に個人情報に関する研修を行い、職員の意識向上に努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションをとり、個人が行ったコミュニケーション内容を職員間で共有していきます。	引き続き、よりよいコミュニケーションが行えるように、日々改善していきたいと思っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		地域のボランティア活動（清掃活動）に参加したり、団体の方との交流の場を設けていますが、招待することはまだできていません。	今後はさらに積極的に地域との連携をはかっていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		各マニュアルを作成し、いつでも確認できる場所に保管しています。緊急時対応マニュアルは個別にも作成し、保護者の同意も得ています。避難訓練は水害、地震・火事を想定し、年2回実施していきます。	引き続き、職員全体でマニュアルの内容を把握し、状況に応じてアップデートをはかっていきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回、避難・救出その他必要な訓練を行っています。	引き続き、職員全体で策定された業務継続計画の内容を把握し、定期的な訓練を行っていききたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		服薬、予防接種記録は、常時更新しています。事前にてんかん発作等の状態、抗てんかん薬の使用方法を確認し、カルテにまとめています。	引き続き、確認は常時行い、年2回母子手帳・お薬手帳の更新確認を行っていききたいと思っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		カルテに記載されており、職員間で情報を共有しています。	引き続き、アセスメントを実施し、職員全体に周知します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		策定された安全計画に基づき、訓練や研修を実施し、安全に支援が行えるようこころがけています。	引き続き、定期的に研修・訓練等を行い、安全管理に配慮した支援を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		安全計画に基づいた取り組みや訓練を、文書にまとめ、保護者へ配布していきます。	引き続き、定期的に訓練等を行い、保護者への周知に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		報告書を速やかに作成し、早期共有に努めています。事例の検討会を行い、再発防止に向けて対策を講じています。	引き続き、事実を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待防止委員会を設け、定期的に研修を行っています。	引き続き、定期的に研修に参加し、虐待防止委員会を実施します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13		安全目的、リハビリ目的で身体を固定することが発生した場合、事前に目的・方法・必要性を保護者に説明し、支援計画書に記載し、同意を得ていきます。また、実施した際は、記録に残します。	引き続き、保護者から了承を得た児のみ、必要時に行うものとし、実施時は記録に残します。	